

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31年 3月 15日

事業所名:障害者通所支援事業所ちゅらハウス1号館

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		学習部屋や活動のスペースを分けて使っている	他事業とのスペース共有も有り、個別支援時の専用スペースの確保を行いたい
	2	職員の配置数は適切である		○			支援児に応じての手厚い支援を行うためには、職員の増をしていく必要がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			○	手すりなど必要な部分などを設置している	車椅子利用児への配慮が足りないため、移動がスムーズに出来る様改善の必要がある。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		会議などを行い全スタッフに行く届くようにする	改善等、必要に応じて全職員参加にて、ミーティングを開催している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		アンケートの意見など職員間で共有し、改善等を含めた話し合いを全職員で行っている	全職員参加にてのミーティング開催を、都度都度行う
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ブログや、ホームページにて公表	前年度は、ブログにて公開。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			スタッフ間で共有する	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○		施設内研修では外部研修講師等を招いて勉強会を行う	毎月1回、施設内研修や、外部研修への派遣を行い、質の向上に努めている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者やスタッフの言葉を聞き個々に合わせた計画を立てる	支援児の状況により、数回の面談を行い、保護者や、利用児のニーズに基づいた計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		ファイルを作成し、全スタッフで共有する	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			担当を中心にスタッフ間で共有する。	担当を中心になって行い全スタッフ協力して取り組んでいる
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			担当スタッフが児童が楽しめるように工夫している	固定しないようにプログラム担当が工夫をしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			個々に合わせた支援内容を設定し支援	週のプログラムを設定し休日などは個々のプログラムに合う設定
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個々に応じた活動内容を組み合わせ計画を立てる	個別プログラムなど設定や集団では学童との集団での活動に取り入れている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			毎日、開始前にミーティングを行い、情報を共有している	開始前にミーティングを行い支援の内容等を話す
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		必要に応じ時間を設け全スタッフで話し合いを共有する	その都度ではないがスタッフがそろわない時は、申し送りノートを活用して、前スタッフで共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		○		問題点がある場合支援開始前全スタッフで話し合う	日誌と個別記録つをとっている。問題点は、ミーティングを行って検証している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			必要性などを判断し相談事業所の計画をもとに計画を見直す	利用状況を報告し相談事業所と連携を図りながら、計画を見直している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている		○		楽しみを持ちよった活動内容を組み合わせている	支援児一人ひとりに応じた支援を行う
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			担当者会議で話し合った情報を全スタッフと共有する	児童発達支援管理者などが支援会議等に参加
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		連絡が怠った場合連絡調整出来るように日々学校との連携をする	学校側との連携が取れていたりとれてなかったりする時もあるが子どもの様子が気になる時は、学校や保護者への連絡を行い対応している。

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当見なし		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			小学生からの受け入れであるが情報があれば共有している	事業所間の移動などがある場合は、関係機関での情報共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		情報がある場合は提供する	当事業所は、該当する児童なし(小学校児対象のため)	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			外部研修などがある場合は参加する	研修がある場合参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○			学童クラブ主催などのイベントに参加	当事業は学童クラブもあり普段より関わりを多く持っている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			協議会で話し合った内容を全スタッフと共有する	放課後等連絡協議会などにサビ管などが参加する。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡帳や電話やLINEにて保護者に伝える	連絡帳や、電話などで伝える。また、送迎時は、出来るだけ保護者と利用児の様子等話し合う時間を作るようにしている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている			○		スタッフの研修を図り、対応していきたい。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			面談や新年度で保護者に説明をする。	面談の際に保護者に説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談内容を全スタッフで話し合う保護者との面談し内容を全スタッフで共有する	お迎え時その都度の相談などがある時ミーティング時スタッフに伝えたり面談をする	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○	保護者会や含め保護者参加イベントを開催する	年1回の保護者総会や毎学期の親子参加行事などで保護者同士のつながりを支援していく	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情があればその都度対応しスタッフで問題点を話し合う	スタッフ間で話し合い迅速かつ適切に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月の便りの配布に踏まえ電話やLINEにて対応	毎月ちゅうだよりにて発行している。LINEなどにて発信	
	35	個人情報に十分注意している	○			施設内の情報は外部に漏れないように徹底	ミーティングで話し合ったことを外部にもれないように職員一人一人意識をもたせている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			個々に合わせた伝達	個々の成長に合わせた伝達を心掛けている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			より多く地域へ参加・招くなどの計画を立ていく	ハロウィンなどで地域に協力を得て参加している。	
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			しおりや保護者総会などで再度説明を行う	会合等への参加が少ない保護者への周知を、面談等で行う	
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			定期的な訓練を実施している	毎月施設内にて訓練を実施している。(火災・不審者対応・地震)	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			より専門性を高めるため外部講師などを招いて勉強会をする	年1回施設内研修を開催している。又、毎年交代で職員を外部研修へ派遣	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			○		基本行わない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			面談にてアレルギーがあるかを確認し対応	主治医からだされた指示書に沿って対応している	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			スタッフ間で共有し問題点を話し合いする	職員研修にて共有を行う	